



朝会の話

～ 約束やきまりを守る ～

～ ピョコン ノタン ヒツタンコ ♪

令和6年4月22日

校長 井口 修

今日は、「約束やきまりを守る」というお話です。

一昨年したお話ですが、大切なことなのでもう一度話します。

私が小学生のとき、近所にどぶ川がありました。学校には「どぶ川は危ないから行ってはいけない。」というきまりがありました。

4年生の時、私はそのどぶ川にどうしても行きたくなりました。

なぜなら、そのどぶ川にトノサマガエルがいると思ったからです。

「危ないから行ってはいけない」というきまりがあるのは知っていました。でも、私は「危なくなんかないよ。」「誰にも迷惑はかけないよ。」と勝手に思っていました。

私は友達2人を誘いました。2人は最初、「きまりを破るのはまずいよ。」と言っていました。私が「トノサマガエルがいるかもしれない。」と言うと、「よし、一緒に行こう。」となりました。3人とも、トノサマガエルの魅力にすっかりとりつかれてしまったのです。

3人でどぶ川に行きました。すると、いました。子どもが行ってはいけない場所なので、誰もつかまえておらず、たくさんいたのです。3人は夢中になって、何匹も捕まえました。そしてだれもけがをすることなく、家に帰りました。どぶ川に行ったことは、3人のヒミツでした。「やっぱり危なくなんかないじゃないか。」と私は思いました。

しかし、しばらくして大変なことが起こりました。1年生がそのどぶ川で大けがをしたのです。その子は、私たちがどぶ川に行くのを見て、行っていい所だと勘違いして友達と行ったそうです。そこで足を滑らせ大けがをしたのです。どぶ川に落ちたら、おぼれてしまうところだった、ということも分かりました。

そうです。1年生の大けがは、私がきまりを破ったから起きたのです。私は本当に申し訳ない気持ちでいっぱいになりました。そして、約束やきまりの大切さを深く感じるようになりました。

クラスや学校には、いろいろな約束やきまりがあります。八小には「八小生活スタンダード」がありますね。それを守らないと、誰かに大きな迷惑をかけます。約束やきまりには、それぞれ理由があり、みんなが守ることで、みんなが生活しやすくなるのです。

今週、クラスや学年で、約束やきまりをもう一度確認してください。八小のみんなが約束やきまりをしっかり守り、笑顔で生活をしていきたいですね。

これで、「約束やきまりを守る」という話はおしまいです。

※裏面に【教職員の皆様へ】があります。

【教職員の皆様へ】学年や、それぞれの立場に応じて、補足をお願いします。

今年度、生活指導主任の〇〇先生を中心に「八小生活スタンダード」を作成していただきました。4月の最初に全校で確認していますが、その指導をしっかりと伝えられるのは今週あたりがリミットになります。指導の確認を全校でできるよう、今日の話をしました。

子どもたちには、自分たちがやりたいことをいきいきと自由にやってほしいと思います。自由にやってほしいからこそ、守るべきことは守り、メリハリをつけられる指導も必要なのです。自由とわがままは違います。また、八小は令和10年度に28学級、市内で一番児童数の多い学校になる予定です。大規模校のその良さを発揮するためにも、「八小生活スタンダード」は大切です。

きまりや約束を守らないとみんなが困る、予測していなかった大きな迷惑をかけることになることを伝えていきましょう。確認をするとき、「**なぜその約束やきまりがあるのか、その理由**」も話してください。自分が大丈夫でも、**下級生(低学年)にとって危険なことがある**ことも伝えていきましょう。

チャイム着席、始業前の授業準備、整列しての教室移動等・・・、これらのことは、習慣になると自然にできますが、普段やっていないと「面倒くさい」「少しくらいいいじゃないか」となり、他のことにも広がっていきます。根気強く粘り強く指導し続けましょう。

積み上げるのには時間がかかり、崩れるのはすぐです。八小の皆でつくっていききたいですね。

それから、そろそろ子どもたちは慣れてきて、ジャブを入れ始めることもあります。

「〇〇を持ってきてもいいですか?」「チャイムが鳴ってから教室に入っても何も言わずスッと座ってしまう」等等・・・。

質問があったら、大事なことは個々に伝えるのではなく、全体を静かにさせ、「ねり消しや香りつき消しゴムは持ってきません。」と全体に示してください。

遅れて教室に入ってきたら、(やさしい口調で)「どうしたの?」と必ず声をかけてください。

理由があれば「分かりました。けがでなくて安心したよ。」等、

理由がなければ「次から気をつけよう。いなくて心配したよ。」等、**できるだけ短く、その子第一であたたかく、毎回指導**しましょう。「遅れてすいません。」と言える指導も大切です。

道徳では「C 主として集団や社会との関わりに関する事」という項目で、

「規則の尊重」として書かれています。学年ごとの内容は以下のようにしているので参考にしてくださいね。

- 低学年・・・約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。
- 中学年・・・約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。
- 高学年・・・法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。

※そうそう、私が思っていたトノサマガエルは、この近辺ではダルマガエルのようなので、似ていますが違うそうです。生き物博士の子どもが聞いてきたら伝えてください。